



2026年4月30日

各 位

会 社 名 あい ホールディングス株式会社
代 表 者 代表取締役会長 佐々木 秀吉
(コード：3076 東証プライム市場)
問 合 せ 先 経営管理部 広報室長 寺田 政明
(TEL 03-3249-6335)

当社連結子会社におけるAI画像解析技術を活用した 次世代セキュリティカメラシステムの受注に関するお知らせ

当社連結子会社の株式会社ドッドウエル ビー・エム・エス（本社：東京都中央区、代表取締役社長：佐々木 秀吉、以下「DBMS」）は、資本業務提携先である株式会社Spakona（本社：東京都渋谷区、代表取締役：河崎 太郎、以下「Spakona」）と共同で、次世代技術を活用したAI画像解析セキュリティカメラシステムを開発し、公共の安全を守る官公庁向けAIシステムの構築案件として受注したことをお知らせします。

■受注背景

近年、公共空間における安全性の確保や犯罪抑止、迅速な状況把握のニーズが高まる中、セキュリティカメラシステムには、より高度な画像解析能力やリアルタイムでの状況認識が求められています。こうした背景を受け、AI 技術を活用した次世代型のセキュリティソリューションの重要性が高まっています。

Spakona は、3次元処理や AI 画像解析技術をはじめとする最先端の機械深層学習技術を活用したソフトウェア開発を強みとしています。今回、DBMS が長年培ってきたセキュリティシステムの映像制御技術のノウハウと、Spakona のスピード感ある最先端ソフトウェア開発力を組み合わせた次世代セキュリティカメラシステムを実現しました。これらの技術力が高く評価され、公共の安全を守るという高度な課題解決に貢献するシステムとして、今回の受注に至りました。

■受注内容

AI 技術を駆使し公共の安全を守る官公庁向けのシステム構築（2026年運用開始）

- ① 数百チャンネルの映像に表示される多数の人・車両に対して同時リアルタイム解析
- ② 一定期間蓄積された映像データと解析データを AI が照合し、高速検索・処理が可能
- ③ AI が映像の活用方法や状況予測を提案し、オペレーターの業務をサポート
- ④ 運用期間中、深層学習による AI 解析能力の精度向上

■今後の展望

当社グループは、「全ては信頼と誠実から始まり、人と社会に認められる価値を創造する」という企業理念のもと、技術をつなぎ、価値を生み出し、社会課題の解決に取り組んでおります。今後においても、Spakona の強みである AI 画像解析や3次元処理などの先端技術を活用したソリューション開発力と、当社グループのセキュリティ分野をはじめとする様々な領域において連携し、AI 技術を活用した画像解析やデータ処理の高度化をさらに進めて、社会課題の解決を推進していきます。

以 上